

授業科目	老年看護学概論		単位数	1	時間数	30
担当講師 (実務経験)	専任教員 (老年看護領域臨床実務経験有)					
科目目標	1. 高齢者の特徴である身体的、精神的老化現象や発達課題を述べることができる。 2. 高齢者を取り巻く社会と保健福祉の動向について述べるができる。 3. 高齢者の健康の目標、生きがい、QOLについて述べるができる。 4. 日本の家族形態の変化をふまえ、介護家族の生活について述べるができる。 5. 高齢者の人権、高齢者虐待の問題について述べるができる。 6. 高齢者を理解し、生活を支援する老年看護の役割について述べるができる。					
	回数	時間	授業内容	授業方法	担当講師	
	1	2	老いるということ	講義	専任教員	
	2	2	老年期の発達と成熟	講義		
	3	2	高齢者にとっての健康とQOL	講義		
	4	3	加齢に伴う変化と日常生活への影響 高齢者体験	演習		
	5	2	高齢者と家族	講義		
	6	2	高齢者と社会	講義		
	7	2	加齢変化に伴う日常生活への影響 加齢に伴う身体的変化と心理・精神的機能の変化 心身の加齢変化に伴う日常生活への影響	GW 発表		
	8	2	高齢者と社会	講義		
	9・10	4	高齢者保健福祉の動向と各施設の役割	講義		
	11	2	高齢者の権利擁護と倫理 ノーマライゼーション 老年看護の倫理 高齢者差別 高齢者虐待 安全確保と身体拘束 高齢者の権利擁護 (アドボカシー)	講義 DVD 演習		
	12	2	高齢者の権利擁護と倫理 高齢者の人権と倫理問題について	講義		
	13	2	老年看護 老年看護の理念・目標・原則 自立支援とエンパワメント	講義		
	14	2	老年看護 高齢者の理解 援助する側としての姿勢	講義		
	15	1	終講試験	講義		
評価方法	筆記試験 80 点 レポート課題 20 点					
評価基準	60 点以上で合格					
テキスト	系統看護学講座 専門分野Ⅱ 老年看護学 医学書院					

授業科目	老年看護方法 I		単位数	1	時間数	30
担当講師 (実務経験)	非常勤講師 専任教員 (老年看護領域臨床実務経験有)					
科目目標	1. 老年期にある対象者を生活機能の観点からアセスメントする意義を述べることができる。 2. 老年期である対象者を生活機能の観点からアセスメントし、看護を展開する方法を述べることができる。 3. 老年期にある対象者の健康レベルの特徴と看護の方法を述べることができる。					
	回数	時間	授業内容	授業方法	担当講師	
	1	2	高齢者のヘルスアセスメント 1. 高齢者のヘルスアセスメント 2. 高齢者のフィジカルアセスメント 3. 高齢者総合的機能評価 (CGA)	講義	専任教員	
	2	2	高齢者の日常生活を支える基本的活動 1. 日常生活活動のアセスメント 2. 高齢者の転倒 3. 廃用シンドローム	講義	専任教員	
	3	2	高齢者の日常生活援助：食事 高齢者の排泄の特徴と看護ケア	講義	専任教員	
	4	2	高齢者の日常生活援助：排泄 高齢者の排泄の特徴と看護ケア	講義 演習	専任教員	
	5	2	高齢者の日常生活援助：清潔 生活リズム 高齢者の衣生活、清潔の特徴と看護ケア 高齢者の生活リズムの特徴と看護ケア	講義	専任教員	
	6	2	高齢者の日常生活援助：コミュニケーション 高齢者のコミュニケーションの特徴と看護ケア	講義	専任教員	
	7	2	高齢者の日常生活援助 援助計画の発表 「高齢者の食事介助」 「高齢者のトイレ介助」 「高齢者の入浴介助」	講義 演習	専任教員	
	8	2			専任教員	
	9	2	高齢者に多い症状と看護 発熱、痛み、痒み、脱水、嘔吐、浮腫、倦怠感のアセスメントメカニズムと看護のポイント	講義	非常勤講師	
	10	2	検査・治療を受ける高齢者と家族への看護 高齢者が受けることの多い検査と検査結果のアセスメント 円滑な検査実施への援助	講義	非常勤講師	
	11	2	薬物療法を受ける高齢者と家族の看護 加齢に伴う薬物動態、薬物による有害反応と特徴 高齢者の薬物管理、与薬、内服管理、介助方法 薬に対する看護職の責任	講義	非常勤講師	

	12・13	4	手術療法を受ける高齢者と家族の看護 高齢者の身体的特徴を踏まえた麻酔による生体反応 術前のアセスメント:栄養状態、既往歴、ADL、家族のサポート体制 術前・術後の観察と看護 術後合併症とその予防	講義	
	14・15	4	終末期における看護 高齢者の死のとらえかたと迎え方の意向 ターミナルケアと緩和ケア、エンドオブライフケア 死の受容過程への看護 苦痛の緩和と安楽への看護 身体徴候の観察、予測的な援助、合併症の予防、 苦痛の緩和、清潔ケア、合意形成 家族への看護 高齢介護者への配慮、遺族ケア	講義	
			終講試験		
評価方法	非常勤講師 筆記試験 50 点 専任教員 50 点 (筆記試験 35 点 レポート課題 15 点)				
評価基準	60 点以上で合格				
テキスト	系統別看護学講座 専門分野Ⅱ 老年看護学 医学書院 系統別看護学講座 専門分野Ⅱ 老年看護 病態・疾患論 医学書院 山田律子他 生活機能からみた老年看護過程＋病態・生活機能関連図 医学書院				

授業科目	老年看護方法Ⅱ		単位数	1	時間数	30
担当講師 (実務経験)	専任教員 (老年看護領域臨床実務経験有) 看護師 (集中ケア認定看護師) 看護師 (脳外科病棟実務) 看護師 (皮膚排泄ケア認定看護師) 看護師 (泌尿器科、眼科、救急科病棟実務) 看護師 (整形外科、救急科病棟実務)					
科目目標	老年期の疾患・疾病の経過の特徴を理解し、老年者特有の看護問題と対応の方法を学ぶ。					
	回数	時間	授業内容	授業方法	担当講師	
医療施設	1	2	1. 医療施設における老年期患者の看護 1) 外来における看護 2) 入院と看護 3) 退院への援助	講義	専任教員	
	2	2				
呼吸	3	2	2. 呼吸機能に問題のある患者の看護 肺炎患者の看護	講義	集中ケア 認定看護師	
認知機能	4	2	3. 認知機能に障害のある患者の看護 1) 認知症とは 認知症患者の看護 2) せん妄とは せん妄患者の看護	講義	脳外科病棟 看護師	
	5	2				
	6	2				
	7	2				
褥瘡	8	2	4. 褥瘡の予防と看護	講義	皮膚排泄 ケア認定 看護師	
腎・泌尿器	9	2	5. 腎・泌尿器機能に障害のある患者の看護 1) 前立腺肥大症・前立腺がん患者の看護 2) 薬物療法・手術療法を受けた患者の看護	講義	泌尿器科、 眼科、 救急科病棟 看護師	
	10	2				
運動器	11	2	6. 運動器の機能に障害のある患者の看護 1) 大腿骨頸部骨折患者の看護 2) 術後の脱臼予防・禁忌肢位への援助	講義 演習	整形外科、 救急科病棟 看護師	
	12	2				
	13	2				
感覚器	14	2	7. 感覚器の機能のある患者の看護 1) 白内障患者の看護 2) 退院に向けての点眼指導	講義	泌尿器科、 眼科、 救急科病棟 看護師	
	15	2	試験			
評価方法	筆記試験 100 点 (医療施設 7 点、呼吸機能 7 点、認知機能 30 点、褥瘡 14 点、運動機能 21 点、腎・泌尿器 14 点、感覚器 7 点)					
評価基準	60 点以上で合格					
テキスト	系統看護学講座 専門分野Ⅱ 老年看護学 医学書院					

授業科目	老年看護方法Ⅲ	単位数	1	時間数	15
担当講師 (実務経験)	専任教員（老年看護領域臨床実務経験有）				
科目目標	1. 老年看護における看護過程の特徴が理解できる。 2. 事例を通して、老年期患者の看護過程の展開方法を習得する。				
	回数	時間	授業内容	授業方法	担当講師
	1	2	老年看護過程 1. 老年看護過程とは 2. 事例紹介 老年期の周手術期にある患者の看護の視点	講義	専任教員
	2	2	共同問題 共同問題と合併症の評価 グループワーク	講義	
	3	2	共同問題 共同問題と合併症の評価について グループ発表	演習	
	4	2	看護計画 看護診断、診断指標、関連因子について 事例展開	演習	
	5	2	看護計画 看護計画の立案 グループワーク	演習	
	6・7	2	看護計画 看護計画の発表	演習	
	8		終講試験		
評価方法	筆記試験 55 点 演習課題 45 点				
評価基準	60 点以上で合格				
テキスト	系統看護学講座 専門分野Ⅱ 老年看護学 医学書院				